大学職員採用案内

Recruiting Information

2026

茨城大学
Ibaraki University

学生が活気にあふれ、教職員がやる気に満ち、
地域が元気になる、ダイバーシティを活かした大学に－

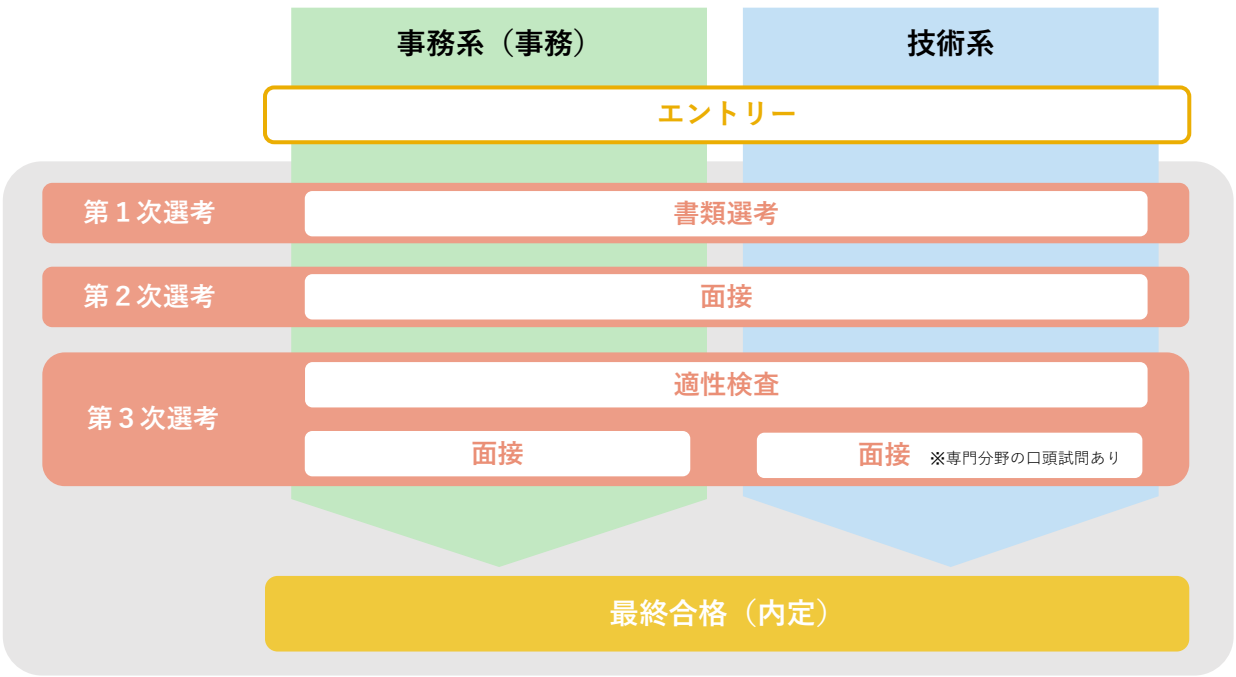
― 茨城大学が求める人材像 ―

●国立大学の使命を深く自覚し、高い倫理観を持って、
公正かつ誠実に業務を遂行できる人材

●学生・教員・地域社会などの多様な人々と信頼を築くため、
協働し円滑に業務を遂行できるコミュニケーション能力の高い人材

●高度な実務能力に加え、デジタル社会に対応した情報収集・分析スキルを
磨き続け、自らのキャリアに責任を持ち、常に広い視野で改善・変革に
取り組む人材

茨城大学が行う採用試験の選考フロー



職員採用についての日程等詳細は、本学の職員採用HPをご覧ください。
https://www.ibaraki.ac.jp/m/recruit/index.html#staff

※本学の採用活動におけるハラスメント防止についての方針について以下をご覧ください。
https://www.ibaraki.ac.jp/m/recruit/recruit_harassment/index.html

茨城大学の概要と特色

２０２４年に創立７５周年を迎えた茨城大学は、１８７１年（明治７年）設立の拡充師範学校を起源とし、旧制水戸高等学校、多賀高等工業学校、旧制霞ヶ浦農科大学などが統合され創立された、長い歴史と伝統を持つ、茨城県を代表する総合大学です。

県庁所在地である水戸市に立地し、大学法人本部が置かれる水戸キャンパスには図書館本館、人文社会科学部（大学院人文社会科学研究科）、教育学部（大学院教育学研究科）、理学部（大学院理工学研究科）、地域未来共創学環、日立キャンパスには工学部（大学院理工学研究科）、阿見キャンパスには農学部（大学院農学研究科）があります。その他に東海サテライトキャンパス、附属幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校を含め多くの施設を有しています。

日立キャンパス

水戸市内には、全国の藩校で教えられていた「水戸学」の発祥地でもある「弘道館（１８４１年創設。徳川御三家水戸藩の藩校）」が所在しています。江戸時代における国内最大規模の藩校であり、武芸一般はもとより、医学・薬学・天文学・蘭学など幅広い学問を扱う、当時の総合大学というべきものでした。その弘道館が有していた蔵書の多くは、国有化に伴って、本学の前身である旧制水戸高等学校に引き継がれました。

また、茨城大学は、日本近代美術の発祥の地であり茨城県北部の「関東の松島」の異名を持つ景勝地・五浦海岸に、岡倉天心ゆかりの「六角堂」等の貴重な文化遺産も所有しています。

水戸キャンパス

このような長い歴史と伝統を活かし、茨城大学では、特に教育に力を入れており、学生にとって「分かり易く、面白い授業」を多く開講すると共に、充実した大学院教育も行っています。

研究面では、多様な分野で国際的に優れた研究に取り組んでいます。さらに、近年は国際交流、大学間連携、地域社会連携を積極的に推進しています。

阿見キャンパス

茨城大学は、新しい時代の大学として魅力の向上に努め、社会の期待に応えるべく様々な改革に取り組んでいます。

茨城大学で働く人々について

茨城大学には、大学教員、附属学校園教員、事務系（事務・図書）職員や多くの専門分野ごとの技術系職員、有期契約職員など常時約1,000人を超える人々が勤務しています。

職員は、大学法人本部事務局、図書館本館及び分館、教育研究・社会連携活動を行う各種センターなどで、総務・人事・労務・財務・学生支援・研究支援・社会連携・国際交流・学術情報サービス及び技術系の業務に携わっています。

大学職員の仕事内容

大学職員というと、学生さん達の応対をしている窓口担当職員のイメージが強いですが、大学法人の運営など、教職員と児童、生徒、学生を合わせ10,000人以上の構成員の活動全てに対する仕事に従事しており、様々な部署と業務内容があります。

部署名		業務内容
UAオフィス (University Administration オフィス)		大学の将来計画、戦略の提案・立案、大学運営全体に関するIR、情報収集、国立大学法人評価、中期目標・中期計画、内部質保証　など
監査室		会計検査院等外部監査の対応、コンプライアンス、法人内監査の総括　など
広報・アウトリーチ支援室		広報戦略策定、アウトリーチ活動支援、公式ウェブサイト管理、大学広報誌発行　など
ダイバーシティ推進室		男女共同参画、ダイバーシティの推進　など
総務部	総務課	大学事務統括、役員会・経営協議会・教育研究評議会、学内諸規則制定改廃、情報公開、各種式典など
	人事労務課	教職員の採用、退職、給与、研修、健康管理、福利厚生、労務管理、労働安全衛生管理、兼業、栄典、表彰、教職員組合対応、教職員評価　など
財務部	財務課	予算の編成・執行及び決算、経理、資産運用、物品購入、役務、その他の法人内全ての契約統括など
	施設課	施設建物の設計、発注及び工事監督、施設環境保全、法人財産の管理　など
学務部	学務課	スタディサポート室運営、基盤教育、教育改善、学籍管理、各種証明書発行、教学イノベーション機構運営　など
	学生支援課	スチューデントライフサポート室運営、学生の生活相談、休退学、課外活動、学費減免、奨学金、キャリアサポート室運営、学生の進路・就職相談・サポート、インターンシップ　など
	国際連携教育課	グローバル教育サポート室運営、国際教育・国際交流の推進、海外留学、留学生受入、グローバルエンゲージメントセンター運営　など
	入試・ 高大連携課	入学者選抜試験（大学入学共通テスト・個別試験等）実施、入試広報、高大接続、アドミッションセンター運営　など
研究推進部	研究推進課	研究費補助金、各種研究助成金、研究活動支援　など
	学術情報課 （図書館）	大学内情報機器・ネットワーク機器管理、情報セキュリティ、図書館運営、レファレンス・サービス、図書の分類・目録及び登録　など
	産学連携課	企業等との受託研究・共同研究契約、知的財産権管理　など
社会連携部	社会連携課	地域企業・自治体等との連携・協働事業、学生・教員プロジェクト、社会人リカレント教育、公開講座　など
	基金・同窓会課	茨城大学基金の受入・管理・運用、五浦美術文化研究所の管理運営、各同窓会との連携　など
学部等 支援部	水戸地区事務課 日立地区事務課 阿見地区事務課	各学部・学環・大学院・専攻科・附属学校園（幼稚園、小学校・中学校・特別支援学校）の運営・管理業務　など
工学部技術部		日立キャンパス（工学部等）での教育・研究に関係する技術的支援　など
学内共同教育研究施設 などでの教育・研究に 関係する事務・技術業務		教学イノベーション機構、研究・産学官連携機構、情報戦略機構、保健管理センター、アドミッションセンター、スチューデントサクセスセンター、研究設備共用センター、地球・地域環境共創機構、原子科学研究教育センター 、社会連携センター　など

（令和８年７月１日現在）

職員インタビュー

各部局で働く職員の声を紹介します。

※インタビュー内容、所属等はインタビュー当時のものです。

事務　財務部　財務課

Q:どのような業務を担当していますか
　私の係では、学生納付金（授業料等）をはじめ、研究関連収入やその他雑収入など、大学における収入全般の請求および管理業務を担当しています。現在は係長として実務に携わりながら、係内業務が円滑に進むよう、調整や進捗管理も行っています。

Q:どのようなときにやりがいを感じますか
　日々の業務が滞りなく進み、仕事を円滑に処理できたときにやりがいを感じます。また、係内での役割分担がうまく機能し、業務全体がスムーズに回っていると実感できたときに、大きな達成感を得られます。

Q:どのような職員と一緒に働きたいと思いますか
　責任感を持ち、誠実に業務に取り組める人と一緒に働きたいです。また、周囲と積極的にコミュニケーションを取りながら、状況に応じてバランスの取れた判断ができることも重要だと思います。私自身も、そのような職員でありたいと日々心がけています。

Q:職場の雰囲気を教えてください
　事務職員は約200名、教員を含めても約1,000名規模の大学であるため、職員同士の距離が近く、プライベートでも交流のある職員が多いなど、全体的に親しみやすい雰囲気があります。

髙内　聡

経理グループ
係長（平成２５年度採用）

事務　研究・社会連携部　社会連携課

Q:どのような業務を担当していますか
　北茨城市にある「五浦美術文化研究所」に関する業務を担当しています。具体的には、施設の管理・運営に関することを担当しています。

Q:どのようなときにやりがいを感じますか
　様々な方と一緒に仕事をする中で、自分の行動が良い結果、きっかけに繋がったと思えた時にやりがいを感じます。また、研究所は外に開いた施設なので、お客様等の反応を直に見ることができるのは、やりがいにも繋がりやすいと思います。

Q:どのような職員と一緒に働きたいと思いますか
　風通しの良い関係を築くことができる人と働けるとありがたいと考えます。何をどのように考え行動や結果に行きついたのか、上下関係なく共有しながら仕事を進めていけると、自分も周りも仕事がしやすいと考えるからです。

Q:職場の雰囲気を教えてください
　所属先によっても色があると思いますが、私が配属されてきた職場は、上記で述べたように「風通しの良い」環境です。仕事を協力しながら進めたり、困ったことがあれば相談もしやすく、私生活と仕事のバランスも取りやすい環境だと感じています。

望月　ひとみ

地域連携グループ
主任（平成３０年度採用）

事務

学部等支援部　水戸地区事務課

Q:どのような業務を担当していますか
　地域未来共創学環の学生募集に関わる広報業務（パンフレット制作、学環説明会の企画運営、ホームページ管理等）や入試業務を担当しています。その他、課内の旅費関係や労務管理、会議の資料作成など幅広い業務に携わっています。

Q:どのようなときにやりがいを感じますか
　広報活動は学生にも協力してもらっています。イベント運営だけでなく、学生自身が企画提案してくれることもあり、職員はその想いを受け取って教員の意見とすり合わせながら形にしていきます。教員・職員・学生が一体となって広報をつくり上げた時にやりがいを感じます。

Q:大学職員を選んだ理由を教えてください
　学生時代に職員の方に支えられた経験から、今度は自分が支える側になりたいと思い、大学職員を選びました。多様な学生や教職員と関わりながら働ける点に魅力を感じ、また地元・茨城に貢献したいという思いから茨城大学を志望しました。

Q:どのような職員と一緒に働きたいと思いますか
　大学は多様な立場の人々と関わる場だからこそ、相手の意見を尊重しつつ自分の考えも伝える姿勢が大切だと考えています。さまざまな背景を持つ人と柔軟に協力し、協調性を大切にできる方と働くことができると心強いです。

飛田　向日葵

地域未来共創学環学務グループ
係員（令和５年度採用）

技術

財務部　施設課

Q:どのような業務を担当していますか
　昇降機保全業務、受水槽保全業務、排水分析業務、電話保全業務、大学全体の施設的不良現調・補修・復旧業務、施工業者や各部局担当との工事日程調整業務、施工方法検討業務、大型改修設計外注・管理・検討業務、改修工事設計・積算業務、工事監督・調整業務を担当しております。

Q:どのようなときにやりがいを感じますか
　やりがいではないですが、大型改修工事の完了検査が終わったときは一番安堵します。大型改修工事は設計委託資料作成から設計業者との打合せ、図面・積算の確認、工事公告応札、工事業者との着手前打合せ、段取確認、部局との調整、現場トラブル等の対応や施工相談・確認等々の多くの業務をこなすため無事竣工したときはほっとします。

Q:大学職員を選んだ理由を教えてください
　大学生を経験し、職員と関わる機会も多数あり職場の雰囲気も良さそうだったことや安定した職場に就職したいと思っていたため大学職員を選びました。

Q:どのような職員と一緒に働きたいと思いますか
　すぐに相談報告ができるような方、互いを思い協力し合える方、経験豊富で思考が柔軟な方、視野が広い方と一緒に働きたいです。

土田　正也

管理保全グループ
係員（平成２６年度採用）

給与・勤務条件

本学の給与・勤務条件は、国家公務員に依拠して定められています。

※令和８年4月１日現在

基本給 （地域手当含む）	例：209,506円 [高卒] 221,169円 [高専卒] 234,758円 [大学卒]
通勤手当	通勤方法に応じ、150,000円まで支給（片道２ｋｍから支給対象）
住居手当	アパート等の賃貸額に応じ、毎月28,000円まで支給
入試手当	大学入学共通テスト、一般選抜、総合型選抜・学校推薦型選抜への従事に対し、支給
扶養手当	扶養親族に対し、毎月支給（例：子13,000円）
定期昇給	年１回（１月１日）
ボーナス （期末手当・勤勉手当）	年２回支給（６月３０日、１２月１０日）
その他手当	時間外勤務手当、休日勤務手当など
所定勤務時間	８:３０～１７:１５（休憩６０分）　実働７時間４５分／１日 （勤務部署により、時差出勤があります）
所定休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（１２月２９日～１月３日）
年次有給休暇	１年２０日
病気休暇	病気、怪我等の療養に必要と認められた期間（９０日まで）
生理休暇	必要と認められた期間
特別休暇	ワークライフバランス休暇（10日間）、結婚休暇、出産前休暇（６週間）、 出産後休暇（８週間）、子の看護等休暇、忌引休暇、ボランティア休暇　など

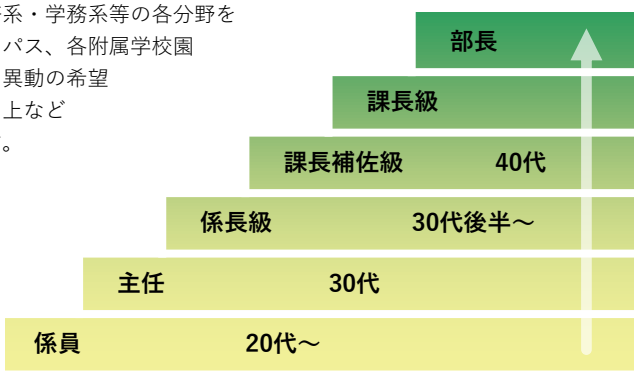
このほか、休職制度、介護休業、育児休業、育児短時間勤務制度、配偶者同行休業制度などがあります。
職員の定年退職は６５歳ですが、希望により、７０歳まで継続雇用職員として勤務することができます。
※詳細は、就業規則（https://houki.admb.ibaraki.ac.jp/lc25/act/110000024.html）をご覧ください。

人事異動・昇進

人事異動には、大きく分類して、各業務分野の仕事を幅広く経験させる場合と、特定業務分野の仕事を歴任し専門性を高めキャリアを重ねていく場合があります。

事務系（事務）職員については、概ね２、３年ごとに人事異動があります。採用直後の期間は、育成期間として位置付けられ、各業務分野を経験し、大学職員としての知識を蓄えるために、総務系・財務系・学務系等の各分野を経験します。また、水戸、日立、阿見キャンパス、各附属学校園への異動もあります。毎年１回、各個人から異動の希望などを聞いたうえで職員の育成、専門性の向上などを総合的に勘案して、異動先が決定されます。

昇進は、職員個々の能力に応じて順次行われていき、課長補佐級以上に昇進する際には、筆記や面接等による試験が行われます。



研修制度

本学では、業務分野ごとに専門性を高める専門研修のほか、大学外で行われる業務に関連したセミナーや研修会に参加する機会を設けています。また、文部科学省内での長期（１年間）実務研修なども実施されます。

研修の例

新任教職員オリエンテーション	法人制度、大学概要、大学運営について
新採用職員研修	大学職員として必要な知識・仕事の進め方等について
係長研修	ミドルリーダーに求められる資質等の向上
中堅職員研修	中堅職員に求められる心構えや行動等について
コンプライアンス研修	法令遵守、コンプライアンス意識の向上
ハラスメント研修	ハラスメントに関する知識の習得と防止について
文部科学省行政実務研修	文部科学省における行政の実務を経験し、視野の拡大をはかる
海外研修	グローバル化に対応できる職員の育成をはかる

※インタビュー内容、所属等はインタビュー当時のものです。

Pickup 1　文部科学省行政実務研修

文部科学省における行政の実務を経験することで、その人の視野の拡大等を図り、大学職員の人材育成に寄与することを目的としています。

～令和６年度研修生よりメッセージ～

令和６年４月より、文部科学省行政実務研修生として文部科学省で勤務しています。高等教育政策や科学研究費助成事業に関する業務に携わり、教育・研究と幅広く経験させていただきました。文部科学省に勤務してから、政策や事業の源流となる答申等に立ち返るようになり、大きな視点で物事を捉えることが出来るようになったと感じています。

私は仕事をする上で、『まずはやってみよう！』という考えを大事にしてきました。その考えの基で、省内業務改善プロジェクトに参加したり、仲間を募って大学職員勉強会を運営する等、人との交流を広げ沢山の情報に触れることの大切さを学びました。学びの輪を広げたい方に、お勧めの研修だと思います。

小林　穂菜美（令和２年度採用）

Pickup 2　海外研修

海外研修として、令和7年8月4日から8日間、台湾の国立台中教育大学が主催するSummer Language & Culture Programに参加させて頂きました。伝統的なお菓子作りなどの体験学習や中国語の講義を、引率を兼ねつつ学生さんと一緒に勉強しました。

授業外の時間では、台湾や韓国、タイの大学の教職員の方と話し合い、日本と海外の大学の違いを知ることができました。また、授業はすべて英語で行われ、自由時間も英語でコミュニケーションをとるため英語力はだいぶ鍛えられました。

普段は学務や国際連携とは関係のない財務課で働いていますが、部署にかかわらず学ぶチャンスがある、とても良い制度だと思います。

安藤　哉太
財務部財務課　財務企画グループ
係員（令和４年度採用）

福利厚生

各種保険等	文部科学省共済組合（民間でいう健康保険・厚生年金に相当）、雇用保険、労働者災害補償保険へ加入します。 **文部科学省共済組合** 文部科学省に勤務する国家公務員と同様に、文部科学省共済組合へ加入し、国家公務員と同一の医療保険・年金制度が適用されます。また、文部科学省共済組合事業では、傷病時や出産時の給付制度、物資購入時の貸付制度、国内の保養施設を利用する際の補助等を受けることができます。
健康管理	水戸キャンパスの保健管理センターには、医師及び看護師（日立、阿見キャンパスは看護師のみ）が常駐し、職員の健康相談などに随時応じているほか、職員は、毎年定期健康診断を受診することになっています。
教職員宿舎	水戸市には、安価で入居することが出来る宿舎も用意されております。また、茨城県内の賃貸物件は比較的安価なため、アパート等に入居して新生活を始める方が多いです。 ★キャンパス周辺の相場 水戸:1LDK 6.0万円 日立:1LDK 5.5万円 阿見:1LDK 6.0万円

社会・地域連携活動

Pickup 1　『地域創生の知の拠点となる大学』を目指して

茨城大学は、市民、自治体、教育界、高等教育研究機関、経済産業界と連携して教育研究を推進し、その成果を社会に還元することで、地域社会の発展に寄与することを行動指針の一つとしています。

本学では、令和元年度より「茨城大学社会人リカレント教育プログラム」をスタートしました。社会のニーズに合ったプログラムの体系化や企業等の相談に応じたプログラムの提供などの仕組みを新たに整備し、地域の企業や自治体と連携しながら教育システムの構築に取り組んでいます。社会人の多様な学び直しニーズに応えるとともに、人材育成を通じた地域創生をめざします。

Pickup 2　茨城大学とプロスポーツチームとの連携

平成３０年に株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント（「茨城ロボッツ」）と連携協力に関する協定書を締結しました。連携協定により、人材育成のためのプログラムの強化やスポーツコンテンツを通じた地域活性化に関する共同研究など、相互の資源を活かした組織的かつ強固な連携が進み、地域の発展を共に目指していきます。

また、鹿島アントラーズや水戸ホーリーホックとも連携協定を締結しており、地域の活性化に積極的に取り組んでいます。

CHECK!

■「地域に支えられ、地域から頼りにされる大学」を目指して

茨城大学 社会連携センター　https://www.scc.ibaraki.ac.jp

■プロスポーツチームとの連携

https://www.ibaraki.ac.jp/m/exchange/professional/

ワークライフバランス

各制度を取得した職員の声を紹介します。

※インタビュー内容、所属等はインタビュー当時のものです。

育児休業制度

令和２年１０月の第一子誕生を機に約３ヵ月半の間、育児休業を取得しました。

コロナ禍であったため私や妻の両親等に育児を手助けしてもらうことも難しく、初めての育児に戸惑うことも多々ありました。しかしながら、妻だけでなく私も育児休業を取得することで、夫婦で考えたり相談したりする時間を十分に確保することができたため、充実した日々を送ることができました。なにより、生まれて間もないわが子が成長する姿を間近で見続けられることは、貴重な財産だと思います。

そうして培われた経験から、育児休業復帰後の現在も夫婦で助け合いながら育児に取り組むことができています。

業務上で繁忙期にあたる期間でしたが、職場の上司や同僚の協力のおかげで育児休業を取得することができ、大変感謝しております。

今後、男女問わず育児休業を取得する同僚に対して、休業中も安心できるよう精一杯のサポートをしていきたいと思います。

中村　仁

人事労務課給与係　係員　（平成２９年度採用）

配偶者同行休業制度

令和元年より、配偶者同行休業を取得し、英国で生活しています。夫の海外転勤が長期におよぶ可能性があったことや私自身、大学での仕事を続けたいという思いがあったことから上司や同僚に相談の上、この制度を利用することとなりました。職場にかかる負担やキャリアブランクができることの不安はありましたが、温かく背中を押してくれた職場に感謝しています。

渡航後は語学学校に通ったり、各地の大学を見学したり、現地で活躍する日本人を訪ねたりして過ごしました。地元の人々との交流や日常における出来事すべてが貴重な経験であり、勉強になります。ロンドンの多様な働き方や、ワークライフバランスの考え方、家庭における男女の平等性にも刺激を受けました。英国人は自分や他者の私生活（趣味、宗教、家族、健康維持など）を非常に重視しており、テレワークやフレックスタイム制などの自由な勤務体系（Flexible Working）も浸透しているおかげで、共働きの家庭でも仕事と家事・育児の両立が比較的容易になっています。

この制度のおかげで退職を考えずに済んだことは幸運でした。復帰後は多くのことを学び直す必要がありますが、やりがいのある仕事なので、現場に戻るのが今から楽しみです。今後、同僚がこのような制度を利用する場合は、安心して働けるよう私自身が全力でサポートしていきたいと思います。

加藤　倫美

広報室　室員　（平成２７年度採用）

CHECK!

■ 誰もが尊重され活躍できるダイバーシティ（多様性）の推進

茨城大学 ダイバーシティ推進室　https://www.ibaraki.ac.jp/diversity/index.html

茨城大学（試験会場）までのアクセス

茨城大学 水戸キャンパス

〒310-8512　茨城県水戸市文京2-1-1

※アクセスの詳細は、茨城大学ホームページにも掲載しています。

▶茨城大学　水戸キャンパス アクセス
https://www.ibaraki.ac.jp/m/campus/mito/

【鉄道でのアクセス】

○JR上野駅からJR水戸駅まで
常磐線特急ひたち/ときわが約30分毎に運行中
[乗車時間] 特急：約80分

○JRいわき駅からJR水戸駅まで
常磐線特急ひたちが約60分毎に運行中
[乗車時間] 特急：約70分

【高速バスでのアクセス】

○JR東京駅(八重洲南口)から水戸駅(北口)まで
みと号(下り)赤塚ルート乗車
[乗車時間]　約120分

【バスでのアクセス】

○JR水戸駅から水戸キャンパスまで
JR水戸駅(北口)バスターミナル⑦番乗り場
茨城交通バス
「茨大行(栄町経由)」乗車 →「茨大前」で下車
[乗車時間]　約25分

※バスは、その他にも多数運行されています。
※各公共交通機関の運行状況は変更となる可能性もあります。
最新の時刻表や運行状況などは、各運行会社のホームページ等をご確認ください。

茨城大学の校章

茨城大学が発足した昭和２４年に作成され、野いばらの葉を図案化し、中に大学の文字を入れたものです。
茨城県の花も「バラ」で「茨」（いばら[のいばら]）は、県の自然や歴史に関係の深い植物です。

茨城大学
Ibaraki University

茨城大学のロゴ・マーク

茨城大学のイニシャル“I”の小文字をモチーフとし、できるかぎりシンプルな造形として「学問の灯」を表現しています。

制作者：佐藤晃一デザイン室

ロケーション

茨城大学
Ibaraki University

職員採用試験に関するお問い合わせ先

総務部人事労務課 職員採用担当
Tel 029-228-8014
Mail　saiyou@m.ibaraki.ac.jp